

東アジアにおける産業集積および企業連関の 新展開と共生的持続性の研究

Studies on Industrial Agglomeration and Corporate
Linkage in East Asia and Symbiotic Sustainability

平川 均 (Hirakawa Hitoshi)

名古屋大学・大学院経済学研究科・教授



研究の概要

東アジアのグローバル化に伴って急速な変化を示してきた東アジアの広域的な構造変動を産業集積と企業連関の側面から分析する。以下の3点の一般的な研究目的を設定する。1. 主要な産業集積・産業クラスターの類型化、2. その特質とクラスター間の連関、3. 政策の在り方を確認し、地域の共生的持続性を考える。

研究分野：社会科学

科研費の分科・細目：経済政策

キーワード：経済政策、産業集積、IT産業クラスター、企業連携、イノベーション

1. 研究開始当初の背景

東南アジアを含む東アジアは先進国企業の直接投資を受け入れつつ経済発展を実現し、産業構造を急速に高度化してきた。この過程を通じ、地場企業を含む従来の産業集積形態は大きく変容した。旧来の「大都市型」「産地型」のような古典的タイプは崩壊し、IT産業クラスターのような新しい集積地が生まれている。

2. 研究の目的

グローバル化の進展の中で、広域的な東アジアの発展を産業集積と企業連関の側面から分析し、旧来のあり方に変わる新しい産業集積のタイプを析出する。それらの諸タイプの集積が生まれる構造を解明し、集積の特質と連関を理論的実証的に捉え、総合化と体系化を図る。東アジアの共生的持続性のあり方も探る。

3. 研究の方法

世界的に注目される東アジアにおける産業集積・産業クラスターを選定し、アンケート・企業調査等を通じ、同時に空間経済学を主とする理論的成果を基礎に、現在の東アジアの構造変動の実態とその構造に迫る。産業集積、企業連関、国際産業・企業連関の側面から分析を行い、その総合化を図る。研究推進体制として、実証と理論の2つの日常的研究会と国際会議等を通じて、各領域の研究を深めるとともに、全体会議を確保して、研究成果の共有化と総合化を図る。

4. これまでの成果

本プロジェクトでは、過去3年間において構造変動を推し進める主要産業であり、産業集積において顕著な役割を果たすIT産業を中心としたアンケート調査などを企画した。

第1年度(H.18)：関西地域の産業クラスターと金融構造に関するアンケート調査(H.18年)。台湾のIT産業クラスター・アンケート調査(H.18, 12~2月)。

第2年度(H.19)：韓国のIT産業クラスター・アンケート調査(H.19.9~10月)。韓国の地方産業クラスターと地域金融アンケート調査(H.19.8)。

上記の調査の確認点は、関西地域が、自動車産業に特化する東海地域と比べて産業構成によりバランスが取れていること。輸出依存傾向も強く、東アジアで進行する工程間分業に組み込まれて中間財取引が多いことなど。

台湾と韓国のIT産業クラスター・アンケート調査では、台湾の新竹・台北に集積する同産業の特徴は、CEOの最終学歴、主要な製造の所在地などから国際的関連の強さが窺われた。これに対して、韓国の水原・大邱のIT産業にあっては海外との関係はそれほど強くない。産業集積と地域金融に関する研究は、日韓の国際比較研究でその共通性を確認した。その他にはインドネシアの産業集積、中国・北京のIT産業クラスターに関する調査も行っている。

研究推進体制としての国際会議は、名古屋大学、南京大学、北京大学などで開催し、それらの成果の一部は、日本語、中国語の図書、英文ペーパーなどとして公表した。また、学

〔4. これまでの成果 (続き)〕
会等での報告も行った。主な国際会議には、3年継続の名大・南京大共催の「東海地域と長江デルタの産業クラスター比較」(於南京大、愛知県庁)、空間経済学の国際会議「経済統合、貿易と空間構造の国際会議」(名大)、日中韓台の産業集積に焦点を当てた「東アジアの産業集積とクラスター形成」(北京大) などがある。

5. 今後の計画

21年度以降については、国際金融危機の東アジアへの影響をも考慮して、特に中国の沿海部の中小企業、自動車、鉄鋼等の産業動向に関する調査を行う。研究班の問題意識の共有と総合化を通じた、産業集積地の類型化、その変容と連関の分析。21年度国際会議「世界金融危機下の東アジア変容する産業クラスター」を中韓台等の研究者の招聘のもと開催。その他、名大・南京大共催国際会議の継続、東アジアの自動車及び関連産業に関するワークショップの開催。

6. これまでの発表論文等 (受賞等も含む) (研究代表者は太字、分担者は二重下線)

論文

- ・平川均・多和田眞・蘇頭揚・徐正解他、「台湾・韓国IT産業クラスターおよび地域金融に関するアンケート調査報告」『調査と資料』名古屋大学、第116号、1-48頁、2009年。
- ・莽景石・平川均「財政連邦制、産業政策と豊田公司在中の“南北分治”」『現代日本経済』Vol. 163 (No. 1) 2009年(中国語)。
- ・Noriaki Matsushima, Yasuhiro Sato and Kazuhiro Yamamoto, “Trade and Mergers in the presence of Firm Heterogeneity,” *Discussion Papers in Economics and Business*, 2009.
- ・Hikaru Ogawa and David E. Wildasin, “Think Locally, Act Locally: Spillovers, Spillbacks and Efficient Decentralized Policymaking,” *American Economic Review*, forthcoming.
- ・家森信善・平川均・崔龍浩他 3名、「日韓の地域金融と産業連携に関する比較研究」、『RIETI-ポリシーディスカッションペーパー』経済産業研究所、No. 08-P-006、1-72頁、2008年。
- ・Lihua Han and Hikaru Ogawa, “Economic Integration and Strategic Privatization in an International Mixed Oligopoly,” *FinanzArchiv*, Vol.64, No.3, pp.352-363, 2008.
- ・奥田隆明, 「都市間旅客交通部門における排出権取引の影響分析」地球環境研究論文集,

Vol.16, pp.145-153. 2008年。

- ・Masashi Morisugi, N. Sawaza, A. Onishi, “Effective Analysis of China’s Pollution Charge System: With a Measurement Adjusted by Water Quality,” *Hydro Changes and Managements from Head Water to the Ocean*, Kyoto Conference, pp.431-438, 2008.
- ・Hirakawa Hitoshi, “Development of Japan’s East Asian Regional Integration Policy and Problems” *The Journal of East Asian Affairs*, Vol.21, No.1, pp.163-193, 2007.
- ・Nobuhito Suga and Makoto Tawada, “International Trade with a Public Intermediate Goods and the Gains from Trade,” *Review of International Economics*, Vol.12, No.2, pp.284-293, 2007.
- ・Zhibiao Liu, Fuxiang Wu and Makoto Tawada, “Disintegration of Production in the Global Economy: An Empirical Study Based on Input-Output Tables of Jiangsu Province in China,” *Studies in Regional Science*, Vol.37, No.2, pp.359-373, 2007.
- ・Okumura Ryuhei, Sustainable Constant Consumption in Semi-open Economy with Exhaustible Resources, *The Japanese Economic Review*, Vol.58, pp.226-237, 2007.
- ・Nobuyoshi Yamori and Ayami Kobayashi, “Wealth Effect of Public Funds Injections to Ailing Banks: Do Deferred Tax Assets and Auditing Firms Matter?” *Japanese Economic Review*, Vol.58, No.4, pp.466-786, 2007.
- ・Mark Spiegel and Nobuyoshi Yamori, “Market Price Accounting and Depositor Discipline in Japanese Regional Banks,” *Journal of Banking and Finance*, Vol.31, pp.767-786, 2007.

著書

- ・多和田眞・家森信善編著『関西地域の産業クラスターと金融構造』、中央経済社、2008年。
- ・劉志彪・多和田眞編著『中国長三角与日本東海地区的産業經濟發展』、中国財政經濟出版社、2007年(中国語)。
- ・中屋信彦「鉄鋼業の拡大と発展」今井健一・丁可編『中国高度化の潮流—産業と企業の変革』(調査研究報告書)アジア経済研究所、2007年。

受賞

- 小川光 2008年度日本応用経済学会賞
- 佐藤泰裕 2008年度坂下賞

ホームページ等

<http://www2.soec.nagoya-u.ac.jp/~hirakawa/>